

令和6年度福島県地域開発事業会計

当初予算の概要

小名浜臨海工業団地



会津若松工業団地



工業の森・新白河A工区



令和6年2月
福島県企業局

令和6年度当初予算 編成方針及び概要

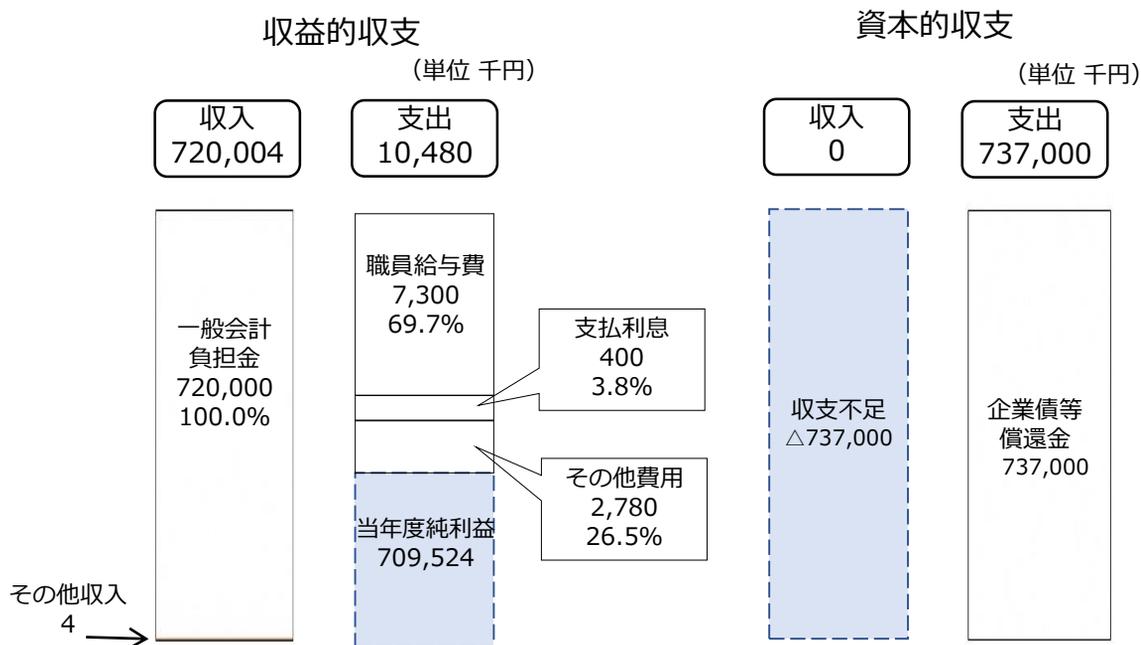
地域開発事業は、本県に企業を誘致し、産業の振興や雇用の創出に寄与するため、工場用地をはじめ、業務用地、住宅用地を造成し、供給する事業を行ってきました。これまでに13の工業団地等の造成を行い、154社の企業誘致により約1万5千人の雇用を創出しました。

令和2年度の事業の廃止決定に伴い、令和2年度末をもって未分譲資産を福島県の商工労働部へ移管しております。

当局では令和6年度の事業廃止まで、事業の企業債残債の償還業務、決算、事業の清算を行っており、平成30年度より一般会計から繰り入れている負担金（毎年度13.3億円、令和6年度は7.2億円）を財源として企業債（残債）の繰上償還を行い、利子負担の軽減を図っております。

返済を必要とする企業債は、令和6年度に完済することとしており、事業終了に向けて、引き続き取り組んでまいります。

【収支の状況（税込）】



【収益的収支】

収入7億2,000万4千円、支出1,048万円のため、当年度純利益は7億952万4千円となる。

【資本的収支】

収入0円、支出7億3,700万円のため、7億3,700万円の収支不足が発生するが、この不足分については、自己資金で補てんする。

前年度予算額との比較（税込）

営業収益は分譲事業を福島県商工労働部へ移管したため、計上しておりません。

営業費用は約1,000万円で、職員給与費などを見込んでおり、営業収支は約1,000万円の赤字を見込んでおります。

営業外収支は、企業債償還財源となる一般会計負担金の収益によって7億1,960万2千円のプラスとなり、7億952万4千円の経常利益を見込んでおります。

このほか、特別利益、特別損失を計上することにより、令和6年度の純利益は7億952万4千円を見込んでおります。

（単位 千円）

項目	令和6年度予算額 (a)	令和5年度予算額 (b)	増減額 (a-b)	比較 (a/b×100)
事業収益	720,004	1,330,004	△ 610,000	54.1
経常収益	720,003	1,330,003	△ 610,000	54.1
営業外収益	720,003	1,330,003	△ 610,000	54.1
一般会計負担金	720,000	1,330,000	△ 610,000	54.1
その他	3	3	0	100.0
特別収益	1	1	0	100.0
事業費用	10,480	15,060	△ 4,580	69.6
経常費用	10,479	15,059	△ 4,580	69.6
営業費用	10,078	10,000	78	100.8
職員給与費	7,300	7,262	38	100.5
負担金	2,610	2,610	0	100.0
その他	168	128	40	131.3
営業外費用	401	5,059	△ 4,658	7.9
支払利息	400	5,058	△ 4,658	7.9
その他	1	1	0	100.0
特別損失	1	1	0	100.0
当期純損益	709,524	1,314,944	△ 605,420	-

【費用の構成】

令和6年度の事業費用として、1,048万円（税込）を見込んでいます。

構成の内訳としては、職員給与費69.7%、支払利息3.8%、その他費用26.5%となっております。

費用の構成

- 職員給与費
- その他費用
- 支払利息

